



宮古島のGIGAスクール構想実現イメージ ~何が変わるの??~



一人一台 GIGAスクール構想 教育情報化

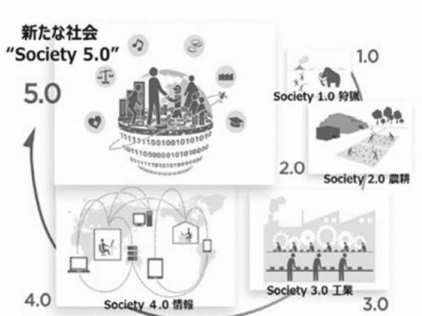
今年度末整備

なぜGIGAスクール構想が必要なの??

これから訪れるSociety 5.0時代には「経済発展と社会的課題の解決を両立するため、イノベーションにより新たな価値を創造すること」を可能とする人材が必要となります。

そのため学校教育においても、IoT等先端技術を活用し課題解決を図ることのできる能力を養うことが求められています。

※Society 5.0: 狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を生み出す変革を科学技術イノベーションが先導していく、という趣旨で「第5期科学技術基本計画」において政府が提唱した概念のこと。



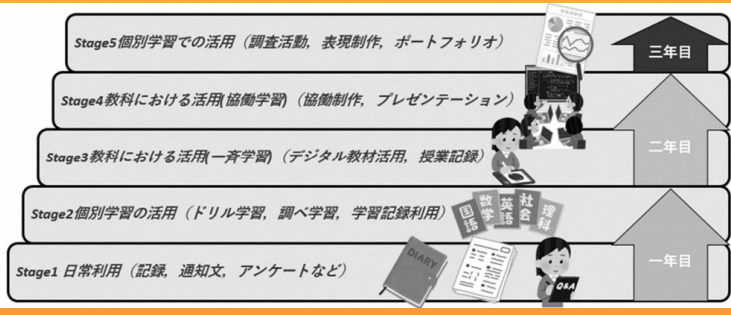
ゆいのひろば11月号より

GIGAスクール構想

- 児童生徒一人一台タブレット端末を貸与(主に授業での活用)
- 高速無線LAN環境を整備
- ICT支援員の増員

を進めていきます。

授業者と学習者のための取組になります。



一人1IDを使って

学習者に一人1IDを与え、端末に個人IDをログインし、クラウド上のアプリケーションを活用していきます。ご家庭の端末でも、制作過程の続きや、ドリル学習等が可能になります。情報セキュリティに関する知識や能力の向上が必要です。

学校一クラス配備から学習者一人一台

現在在中小中学校に教育の情報化に関してICT機器の整備が進んでいます。昨年度までに全教室に電子黒板(大型提示装置)が入っており、「教材等を課題把握のために提示」や「学習者の発表による書き込み」などで利用されています。保護者の皆様におかれましては、これまでの授業方法と異なり、今までの授業方法と異なり、このICT機器が授業の中で効果的かつ効率的に活用されていることを授業参観時にご覧になられたことでしょうか。そして今年度「GIGAスクール構想」が全国自治体で進んで行なわれています。全小中学校児童生徒一人一台のタブレット端末整備になります。現在の情報社会に加え、これからの社会に必要とされる社会人になるべく、学校において情報機器を授業の中で活用できる力(他にも情報を扱う力が他にも情報を取らざるには、授業者の指導力向上も必須になります)が、図の一番下にあるように、授業者と学習者の活用段階を導入年度に伴って設定し、情報活用能力を向上させる必要があります。

Society 5.0とは、

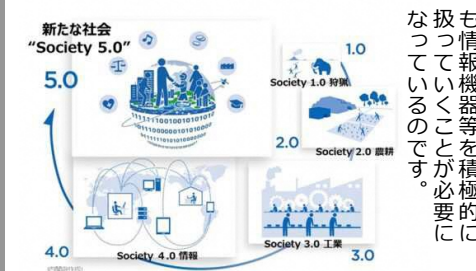
現在は4.0と5.0の間の社会といわれています。情報社会と超スマート社会の間になります。昔前では実現不可能と思われていた音声入力や多言語通訳、身やドローン、無人バスなどがあります。しかしこれらは今の社会の中で現実化されていく物もあります。ビッグデータ等を利用して世の中を動かしていくSociety 5.0の社会です。今の子ども達が成長してこの社会の中心、担い手になるわけですが、その「一人」でなくてはならないのです。学校教育においても情報機器等を積極的に扱っていくことが必要に

導入端末

Lenovo Chromebook 2nd Gen / 11.6型タッチパネル / 電子ペン搭載 / ChromeOS

お問い合わせ先

宮古島市教育委員会 学務係・情報教育担当



今後、宮古島のGIGAスクール構想に関する情報を発信していきます。